

# 会 議 結 果 報 告 書

- |   |        |                      |    |     |    |
|---|--------|----------------------|----|-----|----|
| 1 | 定例会    |                      |    |     |    |
| 2 | 開会日時   | 令和7年10月28日（火）午後1時34分 |    |     |    |
| 3 | 閉会日時   | 令和7年10月28日（火）午後2時00分 |    |     |    |
| 4 | 出席者    | 教育長<br>教育委員 4人 計5人   |    |     |    |
| 5 | 議決等の状況 | 原案可決                 | 0件 | 承認  | 0件 |
|   |        | 一部修正可決               | 0件 | 同意  | 0件 |
|   |        | 継続審議                 | 0件 | その他 | 0件 |
| 6 | 議事録    | 別添のとおり               |    |     |    |

# 教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 令和7年10月28日（火）

2 招集の場所 くすのきプラザ 2F 研修室

3 出席者

教育長	新田	憲章
委員	玉井	節夫
委員	神原	謙治
委員	松本	真奈美
委員	米田	珠美

計 5人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

【会議等】

- ・ 9月29日（月） 全員協議会
- ・ 10月24日（金） 広島県町教育長会研修会

【学校教育関係】

- ・ 10月17日（金） 広島県小学校理科教育研究大会
- ・ 10月22日（水） 教育長ミーティング
- ・ 府中町生徒指導上の諸課題の状況

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	屋敷 学	教育次長兼学校教育課長	宍田 貴
教育総務課長	宮脇 理恵	教育総務課主幹	長岡 広憲
社会教育課長	砂崎 勇介	社会教育課主幹	小路 和司
教育総務課課長補佐兼総務係長	升井 祐佳	教育総務課主査	信岡 久美

6 議事の内容

（開会 午後1時34分）

教育長

それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから、定例、教育委員会会議を開催します。本日の議事日程は、お手元に配布しているとおりでございますが、よろしいですか。

（異議なし）

教育長

ご異議ないようでございますので、そのようにいたします。それでは日程第1、議事録署名委員の指名を行います。府中町教育委員会会議規則第18条第3項の規定により、

私と松本委員を指名することとしますが、よろしいですか。

(異議なし)

## 教育長

では次に参ります。

日程第2、教育長報告を議題といたします。教育長報告5件です。

まず、会議等2件です。

1件目は、9月29日月曜日に開催されました「全員協議会」についてです。詳細については教育部長が報告します。

## 教育部長

教育部長です。

9月29日月曜日に開催されました全員協議会につきまして、この全員協議会は、議会ではなくて、議員18名が揃った中で、町の主要な施策、計画とか条例とかを、議会にかける前にご説明をさせてもらって、詳細な意見や協議をする場として使っている全員協議会というのがあります。この全員協議会で3件の議題がありましたので、その報告をさせていただきます。

1件目は、「府中町第5次総合計画基本構想・基本計画の中間報告について」です。学識経験者や町民からなる府中町総合計画審議会の意見を踏まえ、一部修正された基本構想と新たに作成した基本計画について、総務企画部から説明を行いました。以前もご説明させていただいたとおり、来年度から第5次総合計画という計画を作る予定となっております。10年間の大事な計画になるんですけども、この計画について、基本構想と基本計画を今決めているんですけども、その説明を議員の方にさせていただいて、いろんな意見をもらったということになります。

2件目は、「次期府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略等について」です。町の現状や国の動向、府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議などを踏まえ、次期総合戦略策定の方向性について、総務企画部から説明を行いました。こちらの総合戦略がですね、府中町の人口が今減っている状態をどうやったら増やせるかとか、子育ての施策をどうしていくかとか、そういった形の計画がまち・ひと・しごと創生総合戦略になります。有識者の方を集めた会議がありまして、この会議に諮った内容を、議員の方に説明をして、方向性についての説明を行っていくということです。

3件目は、「揚倉山健康運動公園の再整備について」です。揚倉山健康運動公園は、再整備・利活用に関する基本構想に基づき、来年度以降再整備することになっています。建設部から施設の整備内容や、官民連携による整備・管理の手法などの説明を行いました。今流行りのPark-PFIという手法があるんですけど、民間の力を借りながら整備していく、この方法をとるということの説明になります。再整備・利活用に関する基本構想というものを作っておりまして、これに基づいて揚倉の下段を中心に整備をしていくというようになっております。なお、今回整備する公園下段のグラウンドについては、サンフレッチェ広島レジーナから練習拠点として優先的に利用したい旨申し出がありましたので、一般の方との利用の調整をしながら、利用日などの調整を行っている段階です。

報告は以上です。

## 教育長

2件目は、10月24日金曜日に安芸太田町で開催されました「令和7年度広島県町教育長会研修会」についてです。安芸太田町教育委員会教育長から安芸太田町の教育行政について説明があった後、加計小学校を視察しました。加計小学校は全校児童102名で、平成28年に建設された、木材をふんだんに使った美しい校舎を持つ小学校です。協調学習を取り入れた4年生の算数の授業を参観した後、協議を行いました。また、安芸太田町人材育成・交流センター等の視察も行いました。

## 教育長

次に、学校教育関係3件です。

1件目は、10月17日金曜日に府中中央小学校で開催されました「広島県小学校理科教育研究大会」についてです。詳細については学校教育課長が報告します。

## 学校教育課長

学校教育課長です。10月17日に府中中央小学校で開催されました第60回広島県小学校理科教育研究大会西部大会について報告します。

この研究大会は、大会主題が「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」のもと、研究主題を「自ら課題を見付け、主体的に解決する理科教育の在り方～協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざして～」として研究を進めてきたもので、今回の大会では、府中中央小学校がこれまでの研究を基に授業提案を行いました。安田大学教育学部児童教育学科の土井徹教授、広島県西部教育事務所長をはじめ、県教委、県の教育事務所から4名の指導主事のほか、120名を超す参加がありました。中央小学校の研究主任による基調提案の後、公開授業、研究協議会、ワークショップを行い、県教委義務教育指導課の指導主事の講評を受けました。講評では、公開授業の中で児童自身が課題を見出した瞬間、自己選択・自己決定する瞬間、問いや気づき、学びを共有し深めている瞬間といった各場面を捉えた講評と、「学をつなぐ」ことに関し3点、他者の考えと自分の考えをつなげること、既習事項とつなげること、日常生活とつなげることが興味関心を含め、学びを深めることになる、といった指導がありました。また、安田大学の土井教授からは「「自ら課題を見つけ、主体的に解決する」理科授業を作るためのヒント」と題し、実際の授業事例の紹介や実演を交え、多くの示唆に富んだ記念講演をいただきました。今後も、各校がこういった研究や日々の実践を通し、授業改善、指導力向上に向け取り組んでいけるよう、事務局としても各校のサポート、指導・助言に努めてまいります。

報告は以上です。

## 教育長

2件目は、10月22日水曜日に開催されました「教育長ミーティング」についてです。詳細については学校教育課長が報告します。

## 学校教育課長

学校教育課長です。教育長ミーティングについて報告します。

広島県教育委員会からは、参与、義務教育指導課教育指導監、西部教育事務所教育指導課職員等が来庁されました。府中緑ヶ丘中学校において、校長、主幹教諭等から、家庭や地域から信頼される学校づくりやSST（ソーシャルスキルトレーニング）を軸とした生徒指導の取組について説明を受けた後、授業を参観しました。その後、くすのきプラザに移動して、広島県教育委員会から、現在行っている取組についての説明を受けました。また、意見交換では、教育支援員増員に係る予算の拡大やインターネット利用がもたらす子どもへの影響等が話題にあがりました。

報告は以上です。

## 教育長

3件目は、「府中町生徒指導上の諸課題の状況」についてです。詳細については学校教育課長が報告します。

## 学校教育課長

学校教育課長です。府中町生徒指導上の諸課題の状況について説明します。

資料「府中町生徒指導上の諸課題の状況（令和7年9月末現在）」をご覧ください。

こちらの資料は、10月15日時点での速報値であり、数値に関しては変更する可能性もありますので、ご承知おきください。それぞれ、表の1番右が令和7年9月末時点での累計、その左が昨年同期の累計です。それでは、順にご説明します。

まず、暴力行為の発生件数です。昨年度の9月と比べ、小学校、中学校ともに減少しています。小学校では、生徒間暴力やタブレットの充電保管庫のカギを壊す等の器物損壊、中学校では生徒間暴力の事案がありました。いずれの事案についても、事実確認の上、自分の行動を振り返らせ、謝罪するなどの特別な指導を行っています。

次に、いじめの認知件数です。いじめの認知件数の表をご覧ください。昨年度の9月と比べ、小学校、中学校ともに認知件数は減少しています。小学校では、複数人で被害児童をからかうなどの事案が、中学校では、SNSで悪口を書き込むなどの事案がありました。各学校は、学校としていじめを認知し、被害児童生徒や保護者に指導方針を説明したうえで、加害児童生徒への指導等を行っております。事務局としましても、より軽微な段階からの積極的ないじめの認知及び組織的な早期対応・早期解決に向け、各学校におけるいじめ防止に係る研修に指導主事が参加し、指導助言を行っております。また、SNSをきっかけとしたトラブルの防止に向け、学校では、メディアの使い方について学習する防犯教室等の開催、一人1台端末の活用場面における情報モラルについての指導を行うとともに、学校だよりなどを通じた保護者への啓発を行っており、事務局もこういった学校の取組に対する指導助言を行っております。

次に、特別な指導の件数です。特別な指導の件数の表をご覧ください。昨年度の9月と比べ、小学校、中学校ともに減少しています。指導内容としては、暴力行為やいじめ、携帯電話に関する指導、中学校では、加えて校則違反、家出に関する指導がありました。なお、特別な指導が必要となる暴力行為やいじめ等については、学校から随時報告を受けており、その際、事務局では各学校が組織的に対応できるよう、正確な事実確認を行うことや初期対応等について指導助言を行っています。

最後に不登校についてです。不登校人数の表をご覧ください。昨年度の9月と比べ、小学校、中学校ともに減少しています。学校では、個々の状況に応じた支援をするため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携し、家庭と連携を図り、校内教育支援センターや一人1台端末の活用その他、府中町教育支援センターたんぽぽの部屋やスクールS等の学校外の機関も紹介するなど多様な学びの場を提示しています。

今後も、各校の実態を把握しながら、学校とともに取り組んでまいります。

報告は以上です。

#### 教育長

報告は以上です。「会議等」について、何かご質問等ございますか。

(なし)

#### 教育長

「学校教育関係」について、何かご質問等ございますか。

(なし)

#### 教育長

10月7日火曜日に坂町で「広島県女性教育委員グループ第2回研修会」が開催され、松本委員と米田委員が参加されましたので、ご感想等がありましたらお願いします。

#### 米田委員

坂町のシモハナホール、元サンスターホールにまず行きまして、坂町の取組について教育長等から説明を受けまして、その後小屋浦の防災公園に行かせていただいて、子ど

も達に紙芝居を見せていただきました。小屋浦小6年生の児童の自作でして、今6年生の子ども達が4年生の頃に作ったという紙芝居で、おうちの中に居たら普段とは全然違う雨が降ってきて、最初は家の中で避難していれば大丈夫と思っていたけれど、だんだん周りの様子が、音とか匂いとか、土の匂いもして、とても不安な夜を過ごして、朝起きてみたら、道を隔てて前の所にあった家も無くなっていたりとかいう経験、そしてそれをまた繰り返さないため、防災について普段からいつでも逃げられるようにリュックを用意するとか、そういった心がけを続けて継続すること。大きな震災の後はずはやるんですけど、それから何年か経つうちに記憶から薄れていくことがないように、自分達は語り継いでいきたいという内容で終わる紙芝居を見せていただきました。その伝承のホールで、今までの災害碑とかも5つぐらいあって、昔の災害の記録が彫られた碑が沢山あって、府中町も埃宮にありますよね、災害碑がね、意外と普段それを見てなくて、後世の人に伝えようと思って残しているはずなんですけど、やはり忘れてしまう、そして忘れた頃にやってくるということで、災害碑を見せていただいたのと、その中に写真がかなりの枚数展示してありまして、災害当日の様子の写真を見せていただきました。シモハナホールの前の道の写真もありまして、今はちょろちょろしか流れていないような川なんですけれど、ちょうど小屋浦の伝承館の横の川が水分と風景がそっくりなんですよ、水分の細い道ありますよね、榎川の上の方ですよ、本当に同じような感じの造りで、広島県ではそういう、普段はちょろちょろしか流れていないんだけど、大雨になったら急に沢山水量が増える川があちこちに似たような所があるんだな、というのと、西日本豪雨の時に、真砂土は削れた時に周りからどんどん脆くなって砂になるんだけど、真ん中になかなか浸食が及ばないので、四角い石が沢山あると、真ん中、真ん中、真ん中、真ん中というのが残る、それが大雨の時にさらさらの所が土砂災害になると大きなコアストーンというのが落ちてくる、これが真砂土の怖い所で、府中も石ころび池とか、石ころびって沢山モチーフがありますよね、だからその石ころびがコアストーンが落ちてくるということなのか、私の解釈なんですけれど、広大の先生がコアストーンがすごく怖いんだよというような話をされていて、大きな石が置いてあったりして、これが落ちてきたらとてもじゃないけどというのをニュースでは知っていたし、よく防災館の所はテレビに出ていたんですけど、実際に見るとか、実際にその現地の人のお話を聞くというのが、知ってたつもりになっていたところがあったんですけど、本当の怖さを分かってなかったなと思ってすごく勉強になりました。坂中学校の方はみなさんすごい真面目に取り組んでおられて、時間的に少しずつしか各教室が見られなかったのですが、発表するのに恥ずかしがらないというんですかね、みなさん積極的にどんどん発言をする、中学生で恥ずかしくて言わない年齢かなと思っていたんですけど、すごく活発に手を挙げていらっしゃって、先生とのキャッチボールが盛んで、英会話とかはよくあるかと思っていたんですけど、他の教科も質問、レスポンスがすごくよくて、楽しそうに先生と仲良く勉強してるんだなというのが感じられました。

#### 教育長

去年は、仁賀小学校に行かれたのですね。それはどういう順番で回ってくるんですか。

#### 米田委員

地区ごとで、前は府中町も担当になっていたみたいで、5・6市町村の中から、次どこがやる、を決めてから解散ということで、去年の段階で、坂町が手を挙げられていました。

#### 教育長

事務局はどこがやっているんですか。

#### 米田委員

県教委も2人職員がおられました。

#### 教育長

県教委がやられているんですね。その他ご報告等ございますか。

#### 神原委員

今日、10月28日、緑ヶ丘中学校の文化祭に参加させていただきました。平日にも関わらず、沢山の保護者が観覧に来られておりまして、用意していた椅子では足りず、200名ほどの保護者が、立ち見で観られるぐらいの方が沢山来られておりまして、学校行事に深い関心を持たれているんだな、というところで、嬉しい気持ちになりました。スローガンがですね、「一生懸命は感動を与える」という形のスローガンを掲げておりまして、午前中が合唱のコンクールだったんですけども、全てのクラスが静かに発表するクラスの合唱をしっかりと聞き入っていて、歌う子達も熱意を持って、スローガン通りに素晴らしい歌声を披露されていました。で、司会・進行とか運営も全て生徒がされてまして、自分達で文化祭を作り上げていくんだ、という気合いを、実に体现されていて、感動を沢山もらった素晴らしい文化祭でした。以上です。

#### 教育長

ありがとうございました。他にありますか。

#### 松本委員

私は今日、府中中学校の文化祭に参加させていただきました。府中中は、テーマが「笑顔満祭」ということで、満祭の字が、「満」は「満ちる」という字で、「祭」が「祭り」という風に書かれていて、笑顔が満ちて楽しいお祭りのような形で今回文化祭をされたんだなと感じました。1年生から3年生までの合唱があるんですけど、その中で各クラスの代表の子が、この曲に纏わる話とか、こうやって練習したんです、とかいう決意なんかも歌う前に発表してくださるんですけど、その中でちょっと私が面白いなと思ったのは、1年生の代表の子が「今日は担任の先生の誕生日です。僕たちは先生のために歌います。」と言って、ほほえましい感じで体育館の中も温かい雰囲気になったのが、先生と生徒のいい関係がそこで感じられて私は素敵だなと思いました。また、合唱については、本当にどのクラスも金賞をあげたいというくらい本当に素晴らしい合唱でした。最後に府中中は、生徒が保護者に向けて全校生徒で大合唱をしてくれるというパフォーマンスですかね、毎年やってくださるみたいなんですけど、それが本当にすごい迫力で、すごい感動して、鳥肌が立って、体育館が感動で響き渡ったような状況になりました。子ども達の心がちゃんと伝わったなというような、本当に素敵な文化祭を今日は感じさせてもらいました。

#### 教育長

ありがとうございました。

#### 教育長

以上で、本日の議事日程をすべて終了いたしましたので、これをもって本日の会議を閉会いたします。

(閉会 午後2時00分)